

## 令和7年度（鶴見高等学校）不祥事ゼロプログラムの検証等

## ○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上	教育公務員としての責任を自覚し、法令遵守意識の向上を図り、公務外非行や交通事故を未然に防止する。	職員啓発資料等を活用して毎月職場研修を実施し、教育公務員としての責任感と使命感を再認識させる取組を行った。teams掲示板に年間を通して不祥事防止資料を提示し、教職員の意識向上を図った。 また、風通しのよい職場環境づくりに努め、相互に相談・指摘できる体制を整えることで法令順守意識向上を図った。
職場のハラスメント（パワハラ、セクハラ、マタハラ等）の防止	他者の人権を尊重し、良好な職場環境の維持・確保に努め、ハラスメントを防止する。	オフィス改善による職員室環境の整備を行うとともに、教職員に積極的に声掛けを行い、職員が管理職に相談し易い心理的安全性の高い職場作りに努めた。 また、組織的な業務遂行を進め、ストレスを抱える職員が出ないように予防を心がけた。
生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	生徒の人権を尊重し、セクハラやわいせつ行為の発生を未然に防止する。	全教職員に対し、職員啓発資料等を活用し、教育公務員としての自覚と、わいせつ行為やセクハラに関する意識向上を図った。特にSNSやメールを介した生徒とのコミュニケーションの問題性を意識するよう、事故防止会議等を通して働きかけた。
体罰・不適切な指導の防止	生徒の人権を尊重して指導に当たり、体罰・不適切指導の発生を未然に防止する。	教職員の人権意識を高めると同時に、日常の指導方法に問題がないか教職員相互で確認できるように、複数名対応を基本とした生徒への指導の徹底を図った。 事故防止会議を通して、文部科学省が示した「体罰の参考事例」を示し、教職員の意識向上を図った。
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	マニュアル等を遵守した正確な事務処理の徹底を図るとともに、管理職をはじめ全ての教職員が業務の相互チェックに取り組むことで、事故防止に努める。	入選業務では、全職員で業務マニュアルの読み合わせや採点研修会を実施し、業務に関する共通理解を深め、事故防止への取り組みを徹底した。 成績処理、進路指導に関して全職員に規定、マニュアルを周知し、当該グループを中心に進行管理を徹底し、事故防止に努めた。定期試験問題作成や、成績処理、調査書発行業務等では複数体制で業務にあたり、相互チェックすることで事故を未然に防いだ。
個人情報等の管理・情報セキュリティ対策	個人情報の適切な取扱いに努め、個人情報の流失を未然に防止する。	情報セキュリティに関して職員の意識向上を図った。 さらに、教務手帳、答案用紙、調査書等の重要な個人情報に関して、受け渡し体制及び管理体制を強化すると同時に誤配付、誤廃棄を未然に防いだ。
会計事務等の適正執行	公費は神奈川県財務規則、私費は私費会計基準に則った適正な会計事務を行う。	年間を通じて、個々の会計処理に対してきめ細かな改善指導を継続的に行い、正確で透明性の高い会計処理の徹底に努めた。 年度当初に部活動の会計担当者に会計処理に関する説明を行い、共通理解を図った。県の基準に則り、公正に業者選定を行った。

○ 令和7年度における不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と今後の課題(学校長意見)

令和7年度は具体的な取組として、次の点に注力した。

- ・校内巡回の頻度を増やし、生徒が安全かつ安心して過ごせる環境の維持を図るとともに、潜在的な危険要素の把握に努めた。
- ・個人情報保護の観点から、教務手帳、定期試験問題、調査書等の保管体制を徹底した。
- ・定期的に「不祥事防止会議」を実施すると同時に、神奈川県教育委員会が作成した不祥事防止啓発動画の視聴を徹底した。職員室内に不祥事防止の掲示板を設置した。
- ・私費会計基準に則り、適正かつ迅速な会計処理に取組んだ。

令和7年度、本校は目標に沿って不祥事防止に取り組んだが、一部課題が残る点もあった。今後も、職員の人権意識や教育公務員としての意識向上、法令遵守の意識向上を図る。また、職場の力を高め、同僚性の高い職場づくりに努め、事故・不祥事を未然に防ぐ所存である。また、今後も生徒の人権と尊厳を尊重した指導を実践して、ハラスメントをはじめとした不祥事の根絶に努める。